

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	地域保健活動検討経費		事業開始年度	平成17年度		作成責任者
担当部局庁	健康局		担当課室	総務課保健指導室		地域保健室/保健指導室 大橋正芳/勝又浜子
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域保健対策を着実に推進するため、公衆衛生医師の育成・確保、地域保健と職域保健の連携の支援、地域健康危機管理計画の推進を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健活動の効果的な推進 地域保健活動の効果的な推進を図るため、保健所及び地方衛生研究所への運営指導を行うとともに、公衆衛生医師の育成及び確保を推進する。 ・地域保健と職域保健の連携の支援 生活習慣病予防のため、個々人の主体的な健康づくりへの取組や生涯を通じた継続的な健康づくり体制を構築することとしていることから、都道府県等における地域・職域連携推進委員会の設置・運営を支援し、地域保健と職域保健の連携の全国的な展開を推進する。 ・地域健康危機管理計画の推進 多様化する健康危機事例に的確に対応するための体制の整備等、必要な健康危機管理対策の計画的整備の推進を図る。 					
実施状況	地域・職域連携推進事業関係者会議の開催や、研修医のための研修セミナーなどを行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13	12	10	10	10
	執行額	11	10	9		
	執行率	84.6	83.3	90.0		
	総事業費(執行ベース)	11	10	9		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先及び支出金額については、官庁会計システムにより把握している。 ※本事業は、直接、国から地域・職域連携推進事業関係者会議の講師に対して旅費を支出しているため、「資金の流れ」及び「費目・使途」欄の記載を省略。				
	見直しの余地	平成21年度においては、地域保健と職域保健の連携に係る支援に関する経費及び地域保健活動の効果的な推進を図る経費について使用しているところであるが、90%の執行率であり域保健対策を着実に推進するための経費であるため引き続き要求する。				
予算監視の所見率化	事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						